

			セミナーA会場		セミナーB会場	セミナーC会場
		会場名＞	レセプションホールA		101会議室	102会議室
		面積(m ²)＞	700m ²		180m ²	180m ²
		着席人数＞	スクール 420席		シアター 144席	シアター 144席
9 月 1 6 日 (日)	11:30～13:30	会社名	社団法人東京都歯科医師会	11:30～12:30	キング工業株式会社	クラレノリタケデンタル株式会社
		講演テーマ	歯科医療の発展のカギ ～歯科界が未来に求めること～		歯科訪問診療 はじめの一步から保険請求まで	ジルコニアシステムによるメタルフリー修復を成功へ導くための秘訣
		講師名	浅野 紀元 先生		前田 実男 先生	加藤 正治 先生
		肩書き	社団法人東京都歯科医師会会長		日本訪問歯科協会 広報担当理事	高輪歯科DCC&DSS 院長 日本接着歯学会評議員、認定医 日本歯科理工学会 日本接着器材、予防関連器材DMSA認定
			日々先進する歯科医療は、歯科医療従事者と企業の連携が必要である。その未来像についてそれぞれの分野から提案する。		今回は、訪問診療を始めようとしている方や、すでに取り組んでいる方からの質問を基に、一般的な歯科医院が無理なく展開できる取り組み方をお話いたします。	いまや審美だけでなく、幅広い症例に可能性を上げた「カタナ」、その優位性を引き出すための形成、接着、メンテナンス等の実践テクニックと患者理解を得る効果的なプレゼンのノウハウをお話します。
	14:00～16:00	会社名	社団法人東京都歯科技工士会	13:00～14:00	株式会社 トクヤマデンタル	株式会社 モリタ
		講演テーマ	審美と咬合の両立のために～考慮すべき具体的事例～		MI の概念に沿った う蝕への対応	保険収載された「三次元画像診断」について ～CT画像の有効活用と留意点～
		講師名	榊原 功二 先生 / 吉澤 和之 先生 / 山口 周行 先生		日野浦 光 先生	新井 嘉則 先生
		肩書き	榊原デンタルラボ 株式会社オーリアラ シュウデンタルラボ		東京都開業、日本大学客員教授	日本歯科放射線学会 理事・指導医・認定医 歯科放射線専門医 日本大学歯学部特任教授
			前歯部補綴に対して考慮すべき点を「審美」と「咬合」の観点からテーマに分けて、それぞれの考え方をお話いただき、その類似点と相違点をお二人の講師に討論いただきます。		MIの考え方を基に、歯質を残していくことが求められている。そのために必要な治療の概念や、プライムフィルに代表される新しい治療材料の多様性について解説を加える。	今セミナーでは3次元画像診断を有効活用するポイントと適応症例、CT装置を選択する際の留意点等について、歯科放射線科専門医の立場からご説明いたします。
	16:30～18:30	会社名	ウエルテック株式会社	14:30～15:30	株式会社 ジーシー	株式会社 松風
		講演テーマ	メンテナンスにおける力の話—Dental Overload Syndrome		TiONホワイトニングから始まる院内コミュニケーション/患者コミュニケーション	安全性を重視したインプラント外科処置と有効なメンテナンス法
		講師名	内山 茂 先生		櫻井 善明 先生 / 林 智恵子 先生	大河原 純也 先生
		肩書き	ウチヤマ医院院長 東京医科歯科大学臨床教授		ネクスト・デンタル院長 DH、ホワイトニングコーディネーター	ありす歯科医院 院長
			トウスウェア、知覚過敏、歯列接触癖、歯根破折、噛みしめなど「持続的に加わる過剰な咬合力によって起こる様々な歯科的病態」の解説とチーム医療による対応法		次の展開を考えている院長先生。 メンテナンスだけでなく、新しい提案をしたいと考えている歯科衛生士さん。 ホワイトニングを導入して明るい医院づくりをしてみませんか？	インプラント治療を含む外科処置には、高い予知性と永続性が求められています。本講演では、ピエゾサージェリーを使用した安全・確実な外科処置と、エアフローによるメンテナンスの有用性についてお話します。
		会社名		16:00～17:00	サンメディカル 株式会社	株式会社 日本歯科商社
		講演テーマ			接着を保険診療にいかす —TBB系接着材スーパーボンドとボンドフィルSBの臨床—	「歯科医院の感染管理 常識！非常識？」
		講師名			中村 光夫 先生	柏井 伸子 先生
		肩書き			中村歯科医院 院長	有限会社 ハグクリエイション代表
					今期保険改定では、接着に関する項目が見直された。そこで、発売30年の実績を持つTBB系接着材料について、本企画のテーマを引用し「口腔での接着を科学」したいと思う。	「感染症患者さんの器具の処理は？」。最も多くの方々から頂戴する質問です。患者さんのため自分たちのため、安心して働ける職場作りについて、もう一度考えてみませんか？